



※※<sup>ことし</sup>今年も<sup>のこ</sup>残すところあとわずかと<sup>な</sup>りました※※



みなさん、こんにちは、<sup>こ</sup>子ども相談室です。

<sup>さむ</sup>寒くなってきましたが、<sup>たいちょうかんり</sup>体調管理はだいじょうぶですか。今年<sup>ことし</sup>は<sup>いれい</sup>異例<sup>ずくめ</sup>ずくめ(いつもと

<sup>ちがうことばかり</sup>)の一年<sup>いちねん</sup>でしたね。<sup>なが</sup>長い<sup>きかん</sup>期間<sup>きゅうこう</sup>の<sup>たの</sup>休校<sup>がっこうぎょうじ</sup>や、<sup>ちゅうし</sup>楽しみに<sup>し</sup>していた<sup>ちゅうし</sup>学校行事<sup>が</sup>中止<sup>になっ</sup>た

りと、みなさんにも<sup>ふあん</sup>不安<sup>ふまん</sup>や<sup>こ</sup>不満<sup>ちか</sup>があった<sup>こと</sup>でしょう。<sup>こ</sup>子ども相談室<sup>の</sup>近く<sup>には</sup>、<sup>ほいくえん</sup>保育園<sup>ようちえん</sup>、幼稚園、

<sup>しょうがっこう</sup>小学校<sup>ちゅうがっこう</sup>、中学校<sup>が</sup>あり、<sup>きゅうこうちゅう</sup>休校中<sup>は</sup>子ども<sup>の</sup>姿<sup>や</sup>声<sup>が</sup>なくて<sup>さみ</sup>しかった<sup>の</sup>ですが、<sup>ふたたび</sup>再び<sup>に</sup>ぎや

<sup>こえ</sup>かな<sup>げんき</sup>声<sup>すかた</sup>や<sup>おとな</sup>元気な<sup>げんき</sup>姿<sup>を</sup>みかける<sup>こと</sup>ができて、<sup>わたしたち</sup>わたしたち<sup>おとな</sup>大人<sup>も</sup>元気<sup>を</sup>もらっています。まさに、

『<sup>なばりし</sup>名張市<sup>こ</sup>子ども<sup>じょうれい</sup>条例』の一文<sup>い</sup>にある、「<sup>こ</sup>子どもは<sup>なばり</sup>名張の<sup>たから</sup>たからもの」ですね。

**子ども相談室 ばいっ子ほっとライン(子ども専用電話)**

**0800-200-3218** (通話料無料) <sup>おとな</sup>大人<sup>かた</sup>の方は 0595-63-3118 へ

うれしいこと、かなしいこと、だれかにはなしたいこと、こまったこと、なやん

でいること、なんでもいいよ、おはなししてみてね。ひみつは<sup>かなら</sup>必ず<sup>まも</sup>まもります。

<sup>げつ</sup>月<sup>か</sup>・<sup>もく</sup>火<sup>きん</sup>・<sup>きん</sup>木<sup>きん</sup>・<sup>きん</sup>金 <sup>ごぜん</sup>午前 8:30～<sup>ごご</sup>午後5:15

<sup>すい</sup>水 <sup>ごぜん</sup>午前10:30～<sup>ごご</sup>午後7:00

<sup>めんだん</sup>面談もできます。  
場所: <sup>なばりし</sup>名張市丸の内79  
<sup>なばりし</sup>名張市総合福祉センター  
「ふれあい」2階

※<sup>ど</sup>土<sup>にち</sup>・<sup>にち</sup>日<sup>しゅくじつ</sup>・<sup>が</sup>祝日<sup>と</sup>と 12月29日～1月3日は<sup>やす</sup>お休み<sup>です</sup>です。

**お知らせ**

これまでに発行した『ほっとライン』は<sup>なばりし</sup>名張市のホームページで見ることができます。

アクセス方法 : <sup>なばりし</sup>名張市ホームページ → <sup>こ</sup>子育て → <sup>こ</sup>子ども条例 → <sup>こ</sup>子どものみなさんへ(子どもそうだんしつより)

# 「ばりっ子会議」について

毎年、11月に開催されている「ばりっ子モール」はみなさんがよく知っているとおもいますが、これが開催されるためには、ばりっ子会議で計画・検討することが必要です。今回はその「ばりっ子会議」とそれにかかわってくれた人たちを紹介したいと思います。

☆名張市内の小学校から集まってくれた約30名のおともだち  
(ばりっ子会議の中心で、「こんな名張市になってほしい」といった意見(市政への提言)や「ばりっ子モール」でのお店の企画や準備をします。



☆Kidsサポータークラブのお兄さん・お姉さん(中高生を中心に数名お手伝いしてくれます)

☆皇學館大学のお兄さん・お姉さん(市政への提言(名張市への意見の提出)をサポートしてくれます)

☆MIK運動推進委員会の大人(ばりっ子会議全体の事やばりっ子モールのことをサポートしてくれます)

このようなメンバーで、月1回の会議を開き、話し合いをかさねてきました。今年は「なばりんをひろめる」というテーマで意見を出し合い、「なばりん」が名張の名産品・景勝地を紹介するマップもできあがりしました。



ばりっ子会議の様子:「名張市に、こんなものがあつたらいいな」や「名張市のいい所を知ってもらいたい」といった意見など、たくさん発言してくれます。

みんなマスクや検温など、新型コロナウイルス感染症対策もしっかり考えています。

## \*\*\*ほっとライン豆知識\*\*\*

私たちが『鮭』と呼んでいる魚は、狭い意味ではシロザケ、広い意味ではアトランティックサーモン、ペニザケ、ギンザケ、キングサーモンなどのことです。今回の豆知識は、この鮭のことを調べてみましたよ。

鮭は、川で生まれ、海で育ち、産卵をするために生まれた川に帰ってきます。この行動を『母川回帰』といいます。鮭がどのようにして生まれた川を探し当てるのか、よくわかっていませんでした。しかし、近年では、それは鮭の嗅覚が関係しているのではないかという研究結果がでています。川には、それぞれ棲んでいる生物の違いによって、特有のにおいがあり、鮭はそのにおいを嗅ぎ分け、記憶を頼りに川を探さずようです。日本では10月から12月にかけて川を遡上する(さかのぼる)鮭を見ることができます。

また、川で生まれた鮭が、そのまま川で成長する個体もあります。ヤマメは、サクラマスという種類の鮭がそのまま川で成長したものですし、ヒメマスはペニザケが川に残って成長したものです。ではなぜ、ほとんどの鮭が海に出ていくのでしょうか。それは、海には豊富な餌があるからです。その豊富な餌のおかげで、海に出た鮭は大きな個体になっていきます。そして、鮭の身の色はもともと白身ですが、餌の甲殻類(エビやカニなど)がもつアスタキサンチンという赤い色素を取り込むことによって鮭の身の色は、赤くなります。